

平成22年度 市町村における「地域づくり型生涯学習」に関する調査 取りまとめ結果 (平成22年11月 人づくり文化課実施)

1. 目的	「岐阜県生涯学習振興指針～地域づくり型生涯学習の推進～」(H19.3月)策定後の、市町村における「地域づくり型生涯学習」の推進状況を把握する。
2. 対象	県内42市町村
3. 時期	平成22年11月4日～平成22年12月1日

A 生涯学習の推進体制の整備について

1 生涯学習振興計画等の有無(新規:H22のみ)

あ る (3 8 . 1 %)	な い (6 1 . 9 %)
-------------------	-------------------

16市町村
生涯学習振興計画等の名称

26市町村

市町村名	振興計画等の名称	主な内容
岐阜市	岐阜市生涯学習基本構想	市民の生涯学習を支援し振興することによって、本市の目指す生涯学習社会を実現していく基本的な考え方や方向性を示すもの
羽島市	羽島市生涯学習都市づくり5カ年計画	市民、企業、行政の力を終結して自立した羽島市を構築
山県市	教育振興基本計画	学校教育や社会教育の基本的な方向や、今後推進すべき具体的施策を掲載
瑞穂市	瑞穂市第1次総合計画	未来を担う人づくり、魅力ある生涯学習、輝く人づくり
北方町	北方町教育総合5カ年計画	学校教育を含めて、今後5年間の北方町の教育方針を示したもの
垂井町	生き生きライフ推進構想	健康で充実した生きがいのある人生を送るために生涯を通じて学び続け、そのふれ合いによって共に支える地域づくりを目指す
神戸町	神戸町社会教育計画	基本理念を確立し、それに基づく3つの基本方針を策定している
輪之内町	生涯学習計画	・社会教育・文化振興及びスポーツ振興の方針と重点 ・人権同和教育の方針と重点 講座・事業計画
大野町	大野町生涯学習のまちづくり	諮問書、推進に関する答申、町民憲章の具現化、アンケート
関市	関市生涯学習まちづくり計画	市民が、いつでも、どこでも学びやすく、学習成果が評価され、成果を生かすことのできる生涯学習社会の構築
美濃市	生涯学習マスタープラン	「生涯にわたり一人ひとりが自ら楽しく学び笑顔の広がるまち」を基本理念に、1市民 1芸・1スポーツ・1ボランティアを実践目標に定めている
御嵩町	平成22年度御嵩町教育の方針と重点	年度ごとの重点とする内容と課題を記している

恵那市	恵那市三学のまち推進計画	郷土の先人佐藤一斎の教えに学び、少年期・壮年期・老年期（子ども、大人、高齢者）と生涯学び続けるまちの実現
瑞浪市	21世紀瑞浪市教育の方針	「21世紀の生涯学習社会の実現」等の計画書
高山市	高山市生涯学習振興計画	基本理念「誰もが生涯を通じて学ぶことのできる、地域に根ざした生涯学習の推進」
飛騨市	飛騨市第2次総合計画	生涯学習の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり活動を創出できる人材の養成 ・「地域づくり型生涯学習」への参加促進 ・社会的生活の充実を図る「学び」の支援

2 地域住民などで構成する生涯学習審議会等の組織の有無（社会教育委員の会は除く）
（新規：H22のみ）

あ る（35.7%）	な い（64.3%）
------------	------------

15市町村

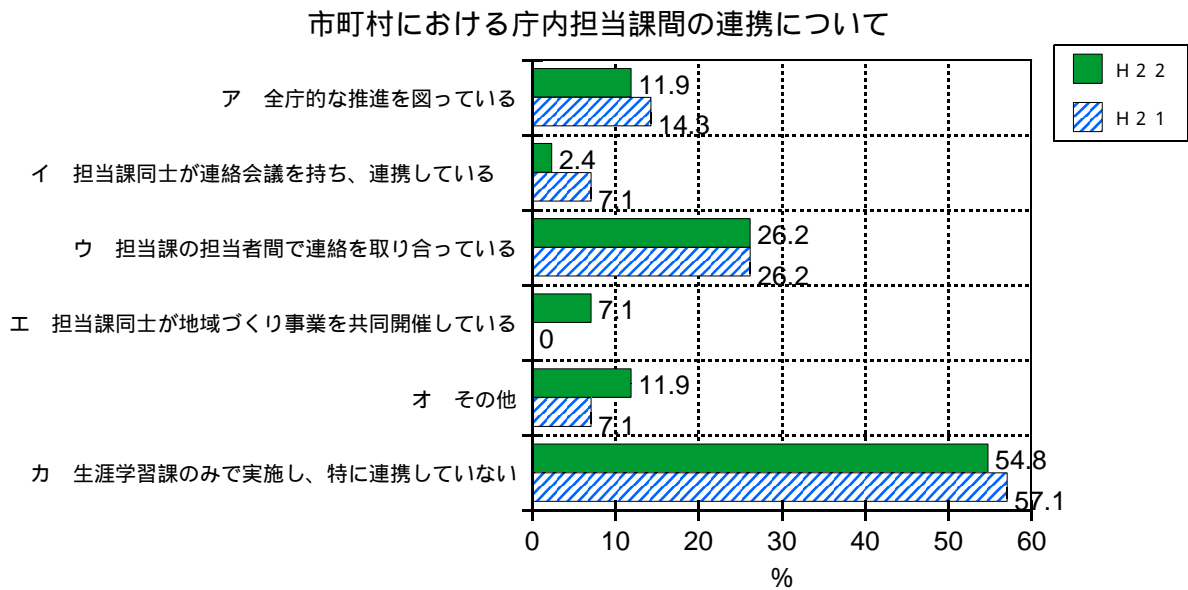
27市町村

生涯学習審議会等の名称

市町村名	組織の名称	市町村名	組織の名称
岐阜市	岐阜市民生涯学習推進協議会	関市	関市生涯学習連絡会
羽島市	羽島市生涯学習都市推進会議	可児市	公民館運営審議会
笠松町	生涯学習推進会議	富加町	生涯学習アドバイザーの会
北方町	政策審議会	七宗町	七宗町生涯学習推進協議会
養老町	「親孝行と生涯学習を進めるまち養老」町民会議運営委員会	瑞浪市	瑞浪市生涯学習推進委員会
神戸町	公民館運営審議会	恵那市	恵那市市民三学運動推進委員会
大野町	生涯学習推進協議会	高山市	高山市生涯学習施設運営審議会
		飛騨市	飛騨市生涯学習推進会議

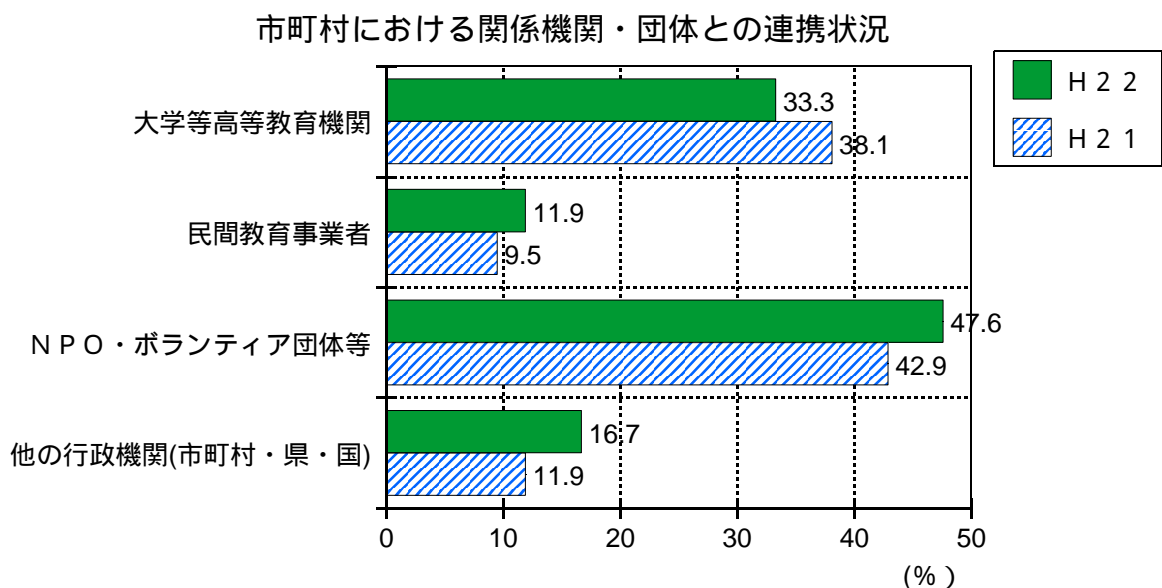
B 「地域づくり型生涯学習」推進について

3 庁内担当課（生涯学習担当課と他の生涯学習関係課(まちづくり担当課)）との連携状況



- ・総合的な行政として全庁的な取り組みをしているのは、5市町。
岐阜市、羽島市、北方町、大野町、高山市
- ・関係課と連絡会議を実施しているのは1市。
郡上市
- ・担当者同士が連絡を取り合っているのは11市町村。
瑞穂市、海津市、養老町、垂井町、可児市、富加町、川辺町、七宗町、白川町、瑞浪市、高山市
- ・関係課と地域づくり事業を共同開催しているのは3市町。
坂祝町、川辺町、瑞浪市

4 生涯学習関係機関・団体との連携状況



連携先	連携の内容
大学等高等教育機関	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の企画・運営に関する指導・助言 ・講師の派遣 ・講座の企画・運営 ・大学のサークル等の協力
民間教育事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の派遣 ・講座の委託 ・推進協議会委員として参加
NPO・ボランティア団体等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の委託 ・事業運営の協力 ・講師の派遣 ・推進協議会委員として参加
他の行政機関（他の市町村、県、国）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換 ・講師の派遣 ・隣接市町村との合同事業実施

・「大学等高等教育機関」や「NPO・ボランティア団体等」との連携は多くの市町村で図られている。
 ・関係機関・団体と連携する市町村は増加している。

5 「地域づくり型生涯学習」の推進を意識した取組の必要性（新規：H22のみ）

必要である（90.5%）	
--------------	--

38市町村

必要でない（9.5%）4市町村

・市町村の「地域づくり型生涯学習」に関する理解は高く、推進の必要性も認識されている。
 必要性を感じない市町村の理由
 ・現在、地域社会に役立ち社会的生活の充実を図る人材が育っていないため。
 ・現状の講座及び自主的なサークル等の活動が活発で、十分であると思われる。また、予算縮減が一段と加速する中、新しい事業を立ち上げ、継続していくことは困難である。
 ・本村は町村合併をしていないことから、従来の地域力を生かした地域づくりに力を入れている。
 ・すでに各地区にまちづくり組織があり、活発な事業が展開されていることから。

6 「地域づくり型生涯学習」の推進を意識した取組の実施状況（新規：H22のみ）

実施した（61.9%）	実施しなかった（38.1%）
-------------	----------------

26市町村

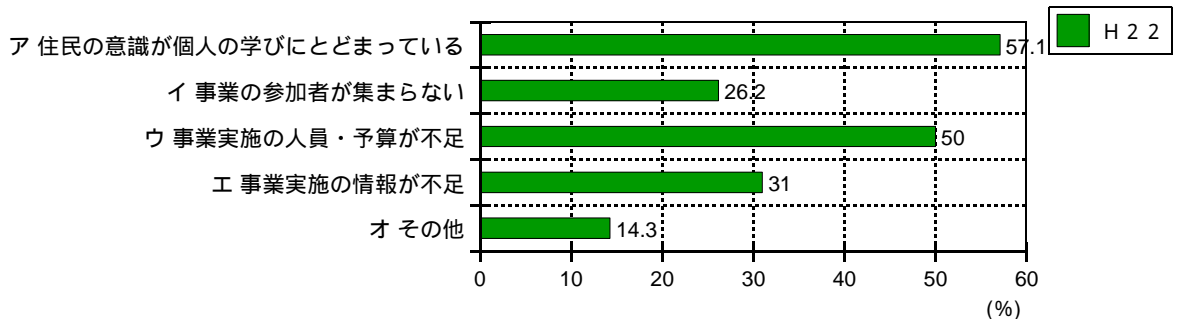
16市町村

【実施事例】
 ・生涯学習によるまちづくり養成事業。
 ・公募した市民講師が企画運営する連続の生涯学習講座。
 ・地域において文化、芸術、スポーツなどの分野における専門的知識を有する方々を市民講師として登録し、その情報の提供により生涯学習活動を支援する事業。

- ・「地域の文化財探訪講座」を開講し、地域内に存する文化財に実際に触れ、町の歴史・文化を再確認した。
- ・子育てサポーター養成講座、図書館サポーター養成講座などを開講し、市民参画の場を設けた。
- ・「地域学総合講座」を実施。現在は学びの講座であるが、将来的には地域の問題解決を目指している。
- ・オープンキャンパス事業（市民が教える市民の講座）
「自分の“技”を教えたい」という市民がアドバイザーとして、学びたいという市民の方へ自分の得意分野を教える。現在アドバイザー登録は100人以上、1シーズン1000人を超える受講者がある。この事業で“技”を学んだ受講者が、今度は教える側になり市民へ教えていくといった良い循環型事業となっている。

7 「地域づくり型生涯学習」を進める上での問題点や課題（改定：H22のみ）

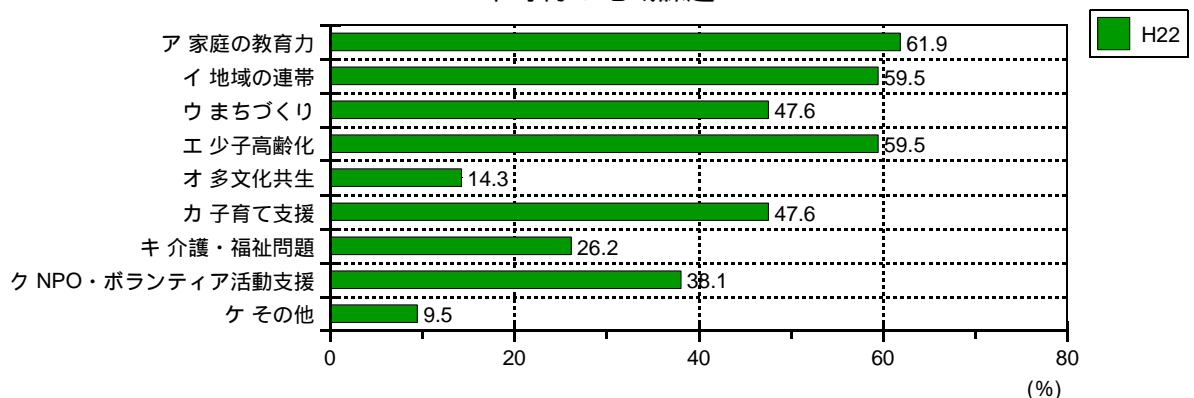
「地域づくり型生涯学習」を進めるうえでの問題点や課題



・過半数の市町村が、「ア 個人の学びにとどまっている」「ウ 人員・予算の不足」を事業を推進する上での問題点・課題としてあげている。

8 市町村の地域課題（新規：H22のみ）

市町村の地域課題



・過半数の市町村が地域課題として、「ア 家庭の教育力」「イ 地域の連帯」「エ 少子高齢化」をあげ、続いて「ウ まちづくり」「カ 子育て支援」となっている。

9 「岐阜県生涯学習振興指針～地域づくり型生涯学習の推進～」に対する意見

【指針の概念、県の取組について】

県が推進する「地域づくり型生涯学習」について、現状、課題、市などの役割、目指す方向などデータや図を用い、分かりやすくまとめられており、市の「生涯学習都市づくり5カ年計画」(平成22年～26年)の策定時にも参考にした。

地域づくり型生涯学習総合推進会議などの研修が役に立った。

事業については、モデル事業の情報発信、実践報告がよくなされていると感じる。

事業内容は理解できるが、それをいかに実施するか、特に地域が弱くなり、予算も少なくなっている現状で、地域づくりをいかにするか、具体的に提示してほしい。

大学等高等教育機関、NPO、ボランティア団体などが連携することが重要とあるが、具体的な動きをつくるのは困難である。

岐阜県の生涯学習振興指針については、とてもいいことだと思う。しかし、あまり伝わっていないような気がする。

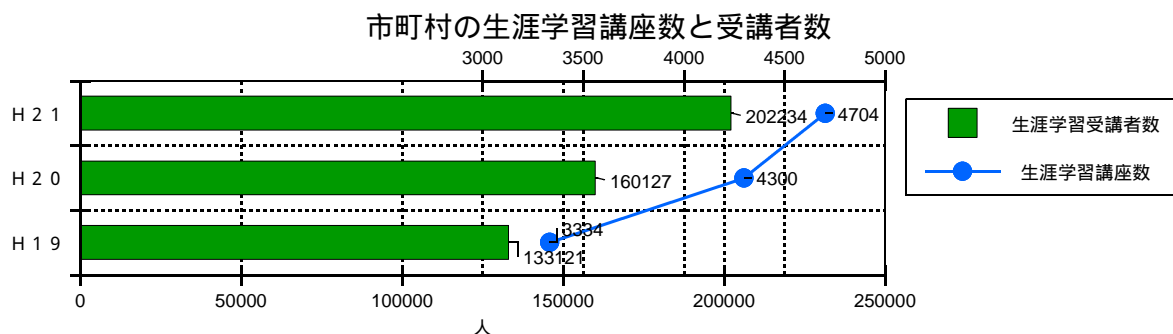
要約したA4程度の資料があると使いやすいと思う。

【市町村の取組】

いろいろな企画をたてても、実際関心を持っている人はかなり少ないと思われる。せっかく住民に参加してもらおうとしても、興味がなかったり周知がなされていないがために参加人数が少なかったり、企画倒れになることがある。どのようにしたらいいかが難しいと思う。

C 市町村での取組について

10 開講した生涯学習の講座数について



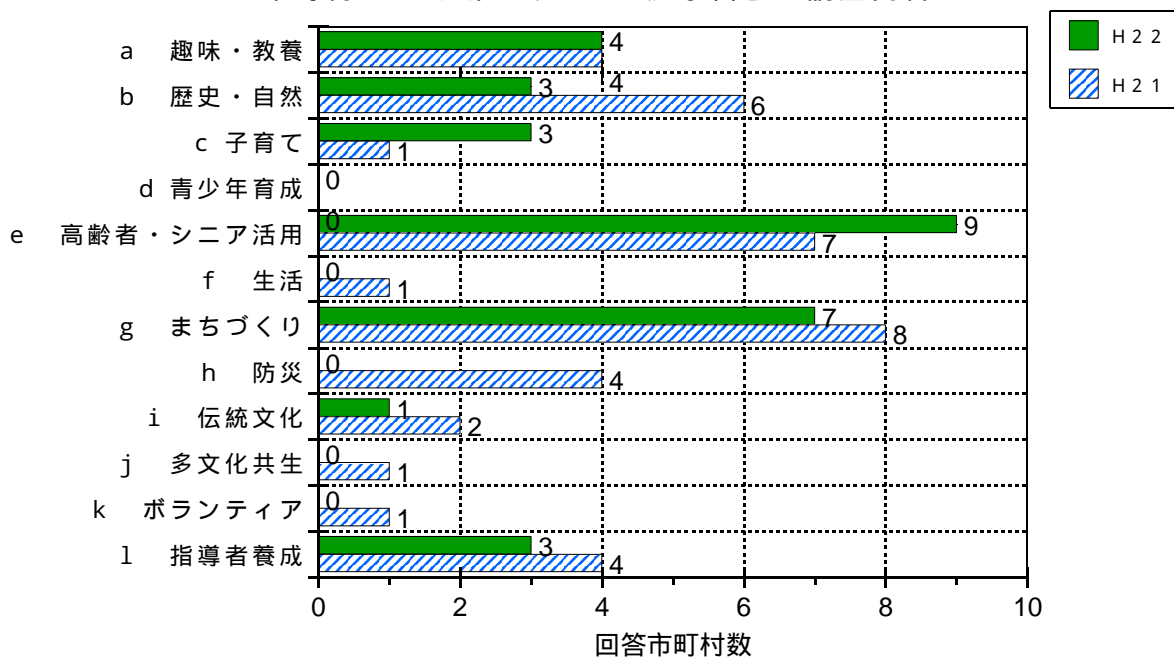
- ・生涯学習の開講講座数および受講者数は年々増加している。
- ・H22年度は、年度途中で調査したため、確定データがとれていない。

11 生涯学習講座の中で、人気のある講座や分野

- ・健康体操、綾子体操教室、太極拳など体を動かす講座。
- ・料理教室など料理関係の講座。
- ・デジカメ講座やパソコン講座。
- ・生活の中での技術を扱う分野(剪定・魚の捌き方など)

1 2 「地域づくり型生涯学習」に関する講座内容（地域の実情に応じた課題に関する講座）

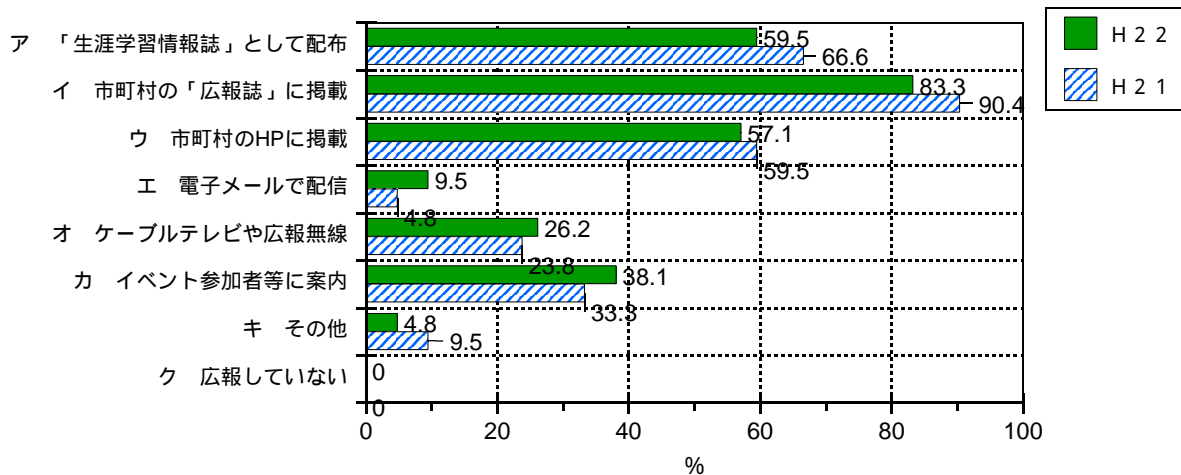
市町村の「地域づくり型生涯学習」の講座内容



・講座の内容は、a：趣味・教養、e：高齢者・シニア活用、l：指導者養成 に関するものが増加している。

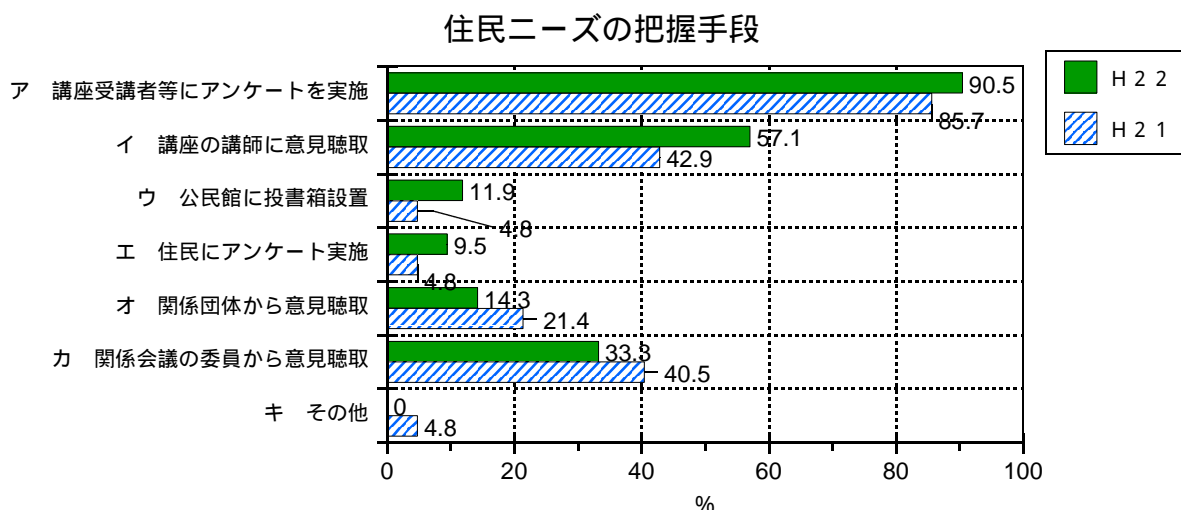
1 3 生涯学習の講座やイベントの広報手段

生涯学習講座やイベント等の広報手段



・広報手段は、「市町村の広報誌」「生涯学習情報誌」「市町村HP」が過半数を占めている。
 ・キ その他 として、パンフレットの配布、全小中学生にチラシ配布 であった。

1 4 生涯学習関連事業を進めるうえでの住民ニーズの把握

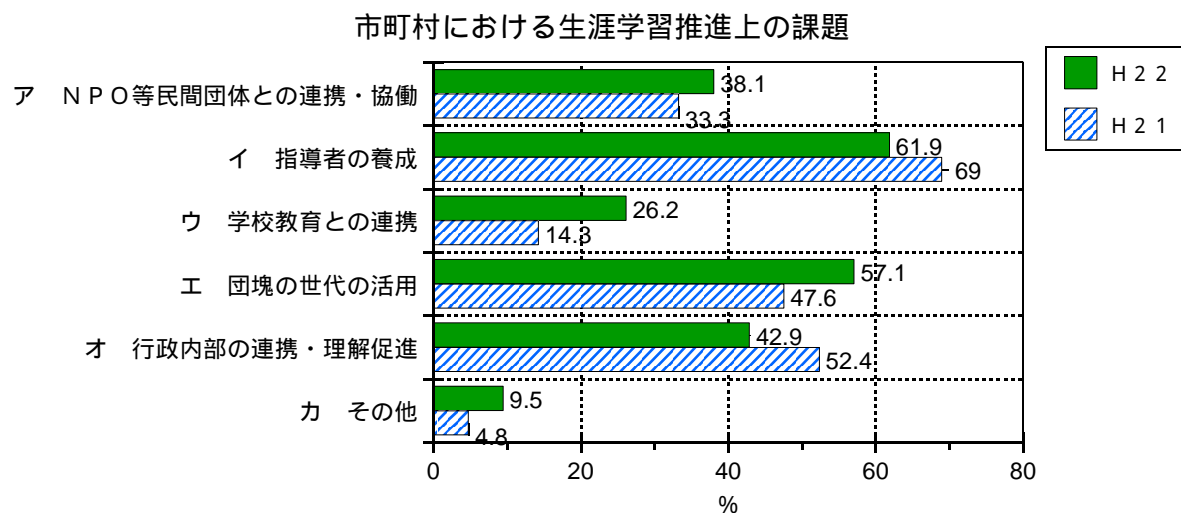


・住民ニーズの把握は広報手段は、「市町村の広報誌」「生涯学習情報誌」「市町村HP」が過半数を占めている。

1 5 今年度の取組の中で市町村の特徴的なもの（生涯学習講座を含む）

別紙参照

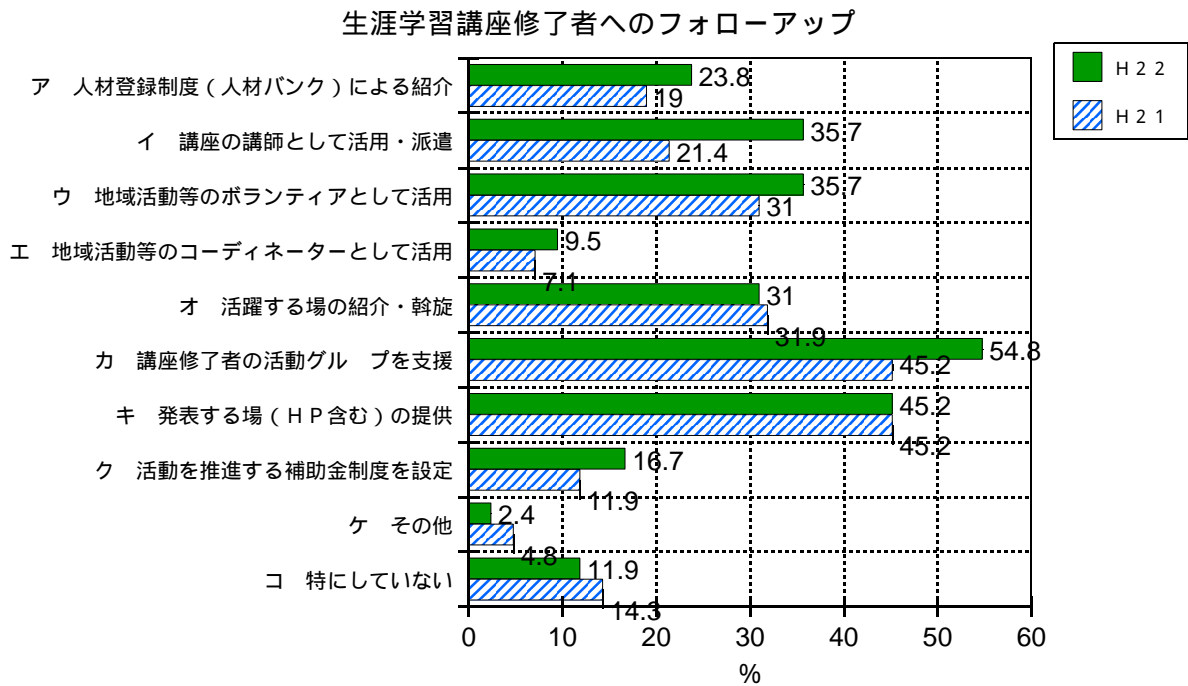
1 6 生涯学習推進上の課題



・指導者養成、団塊の世代の活用や行政内部での連携に関する課題がある。
 ・カ その他 として、講座の企画、行政担当部局のマンパワーの不足、講座等の活用者の固定化があげられている。

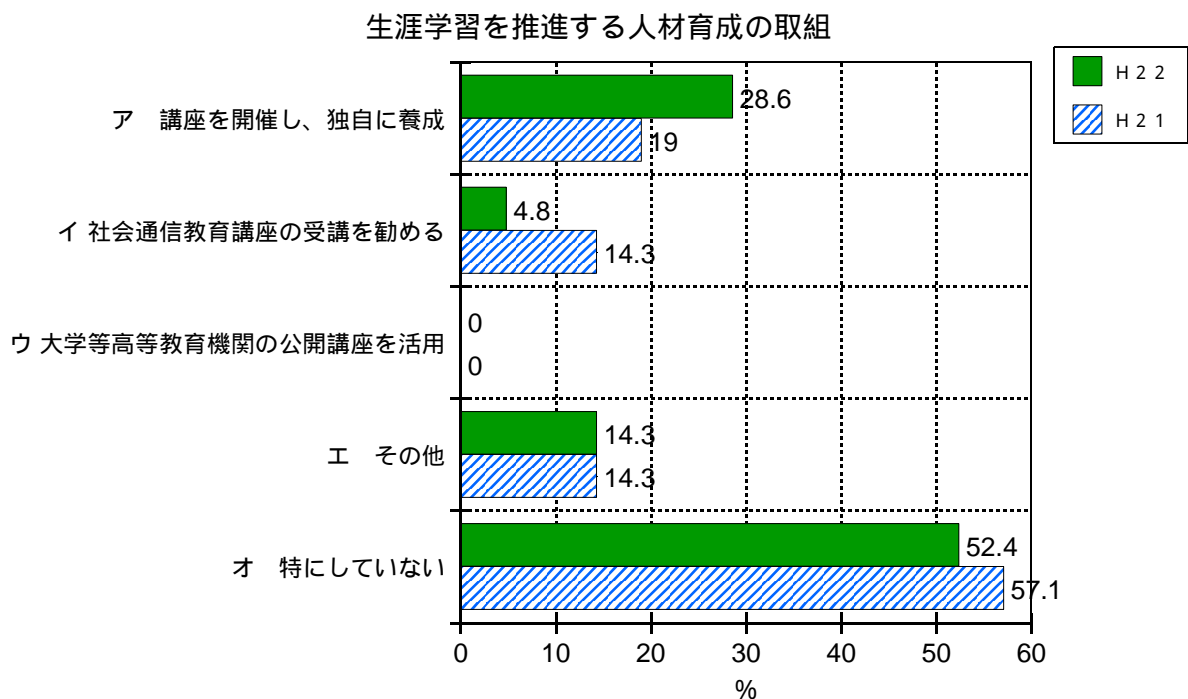
D 人材の育成・活用について

17 生涯学習講座の修了者に対する取組（フォローアップ）



・講座修了者に対するフォローアップの取組は、図られている。特に、半数の市町村が修了者の活動グループの支援を行っている。

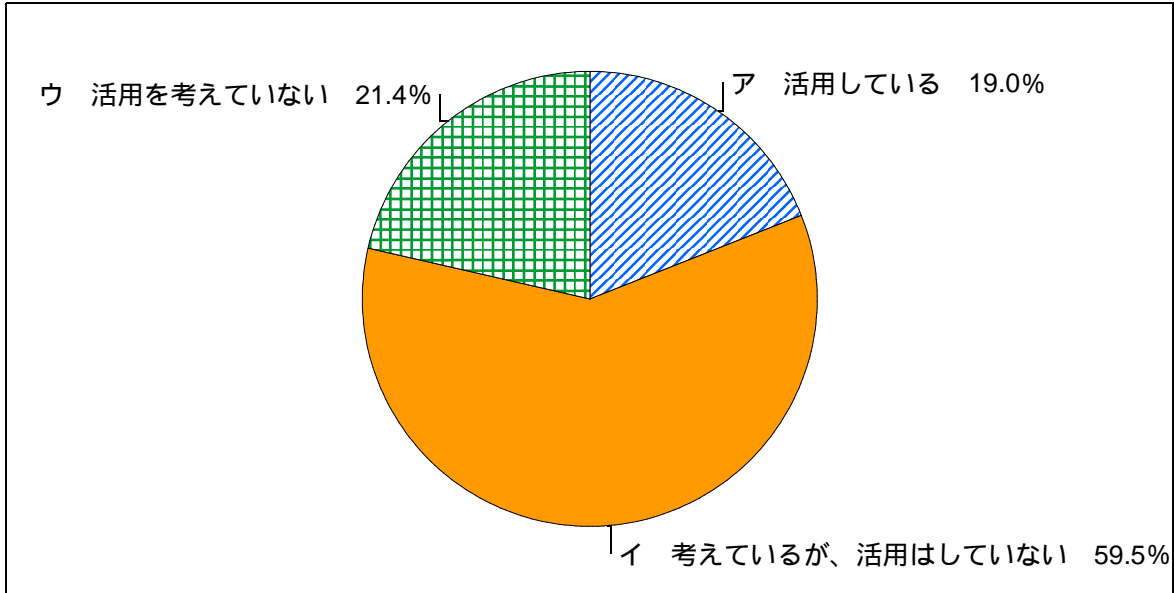
18 生涯学習を推進する人材の育成について



・半数の市町村が、生涯学習を推進する人材の養成を特に行っていない。
 ・エ その他 として、生涯学習リーダーバンクの登録者研修、学校支援ボランティアの研修実施、生涯学習推進委員会市民部会員に任命し、事業依頼 などがあがっている。

19 県が養成した「岐阜県生涯学習コーディネーター」の活用について

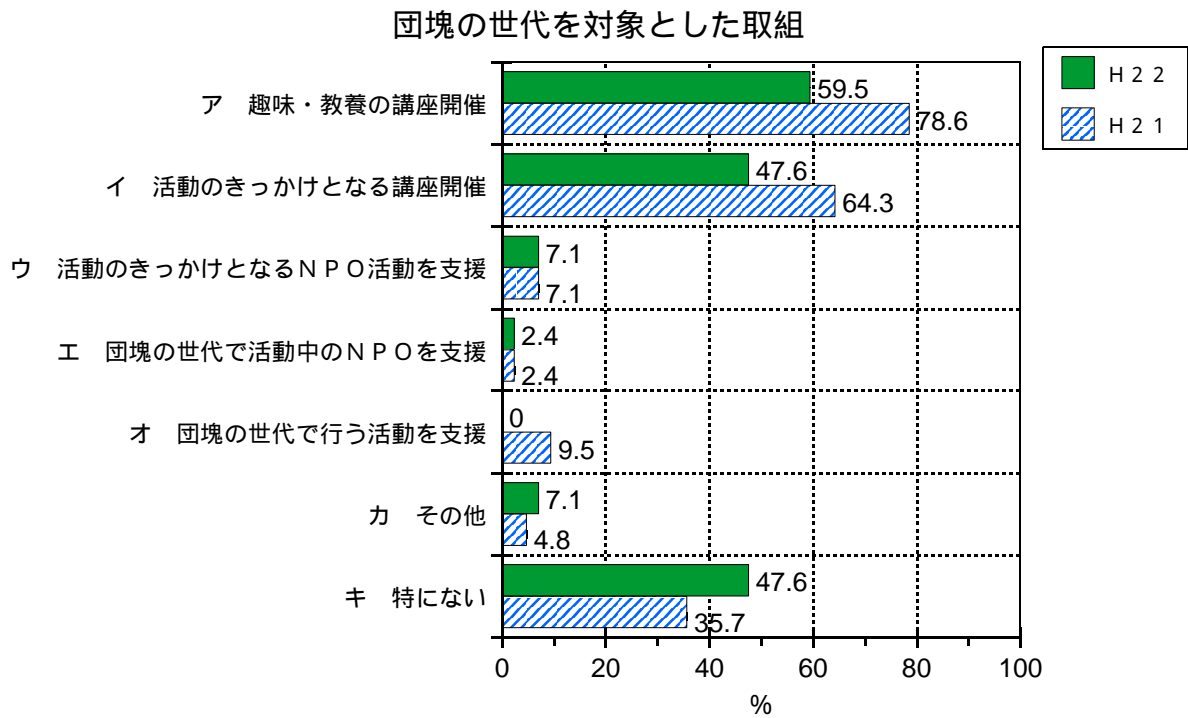
生涯学習コーディネーター活用状況（H22）



アの活用例	<ul style="list-style-type: none"> ・市で企画した講座の講師を依頼した。 ・資格取得者の一部を生涯学習アドバイザーに認定し、活動してもらっている。 ・コーディネーターを中心とした生涯学習ボランティア団体が、市の生涯学習のリーダーとして活動している。 ・町内在住のコーディネーターの方に生涯学習の企画・立案等を協力してもらっている。 ・通信教育講座「生涯学習ボランティアコース」の受講生に対して、市独自でスクーリングを実施し、その講師を依頼している。
イの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者の認識の不足。（複数） ・活動状況や活用事例、近隣にコーディネーターがいるかどうかも含めた情報の不足。（複数） ・行政とコーディネーターとの連携の不足。 ・予算的問題。（複数） ・ニーズと合致する人材がない。（複数） ・市独自でコーディネーターを設置しているため。 ・地域家庭教育推進協議会委員をお願いしているが、平日開催のため出席しただけでないことが多い。 ・今後、地域の課題を踏まえた取組を実施する際に活用したい。（複数） <p>詳細は別紙</p>
ウの理由	<ul style="list-style-type: none"> ・活躍する場がない、または少ない。 ・必要とするコーディネーターがない。 ・さらなる地域づくり型生涯学習の機運がまだ煮詰まっていない。 ・現状維持を考えており、特に必要を感じない。 ・活用する気運が担当課にない。

E 「団塊の世代」に対する取組について

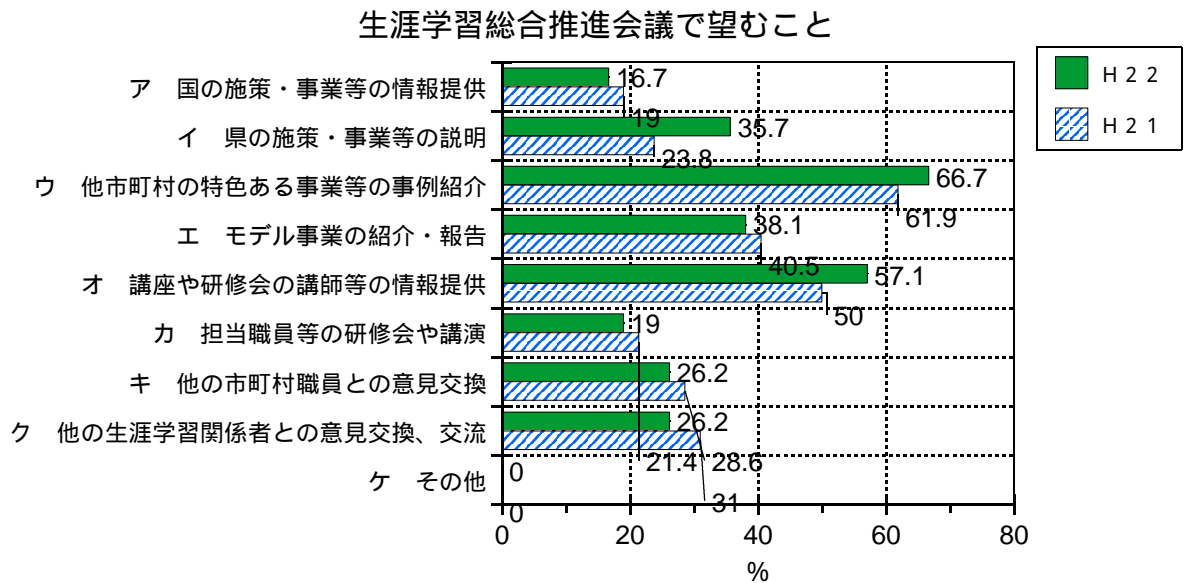
2 0 団塊の世代を対象とした取組



・「団塊の世代」を対象とした取組は、半数以上の市町村で実施。
 ・取り組み内容は、講座の開催が中心である。

F 「生涯学習総合推進会議」について

2 1 生涯学習総合推進会議で望むこと



- ・会議では、「県内市町村の特色ある事業、取組等の事例紹介」に関する情報提供が望まれている。
- ・H20年までは、「圏域別生涯学習推進会議」を開催。

G その他

2.2 生涯学習全般に対する意見・要望

本町として生涯学習の推進を図る場合には、生涯学習課だけでは動けないので、総務課との連携をしていく必要がある。

生涯学習の推進に関する業務の所管課が首長部局へ移管されたことで、学校との連携や社会教育に関する部分が薄らいできているように思われる。